

iVMS-4200 管理ソフト

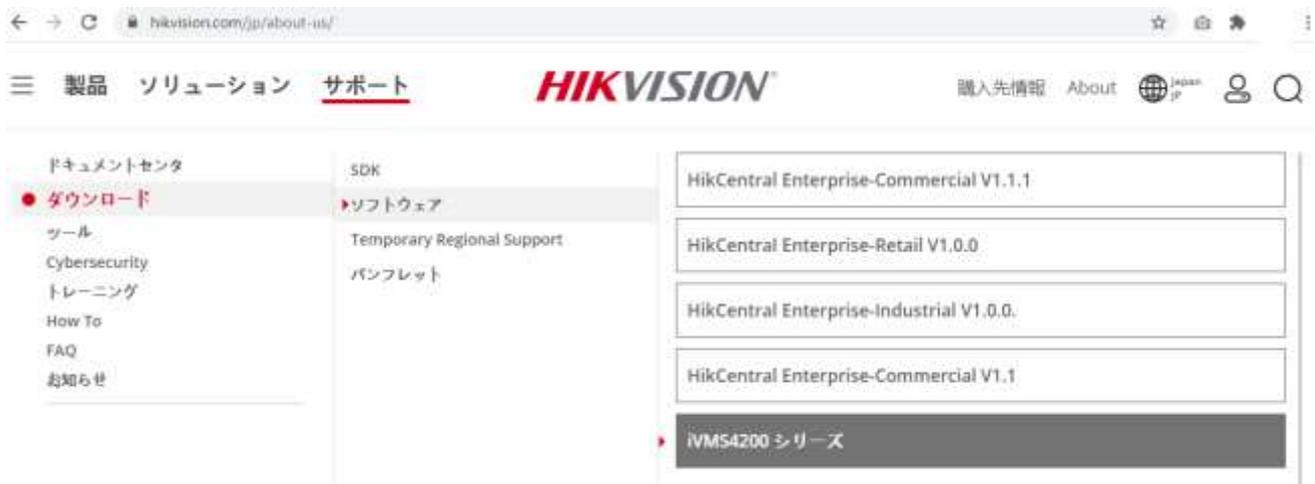
1. ダウンロード

iVMS-4200 クライアントソフトウェアは、DVR、NVR、IP カメラ、エンコーダ、デコーダ、セキュリティ制御パネル、ビデオインターコムデバイス、アクセス制御デバイスなどに対応する多目的なセキュリティ管理ソフトウェアです。このソフトウェアは、接続されたデバイスに対してリアルタイムのライブビュー、ビデオ録画、リモート検索および再生、ファイルバックアップ、アラームの受信、人の管理、アクセス制御、ビデオインターコム、セキュリティ制御、勤怠管理など複数の機能を提供します。柔軟な分散型構造と使いやすい操作性により、中規模または小規模の監視プロジェクトに幅広く適用できます。

弊社のホームページまたは HIKVISION の公式サイトから iVMS-4200 管理ソフトをダウンロードします。

「サポート」 → 「ダウンロード」 → 「ソフトウェア」 → 「iVMS4200 シリーズ」:

<https://www.hikvision.com/jp/support/download/software/ivms4200-series/>



iVMS-4200 のバージョンはいくつかあります。

iVMS-4200 **(おすすめ!)** ほとんどの機能、映像管理、アクセスコントロール、勤怠管理、等)

iVMS-4200 AC (アクセスコントロール専用)

iVMS-4200 VS (iVMS-4200 の短縮バージョン: 映像管理の基本機能のみ、小さいプロジェクト専用)

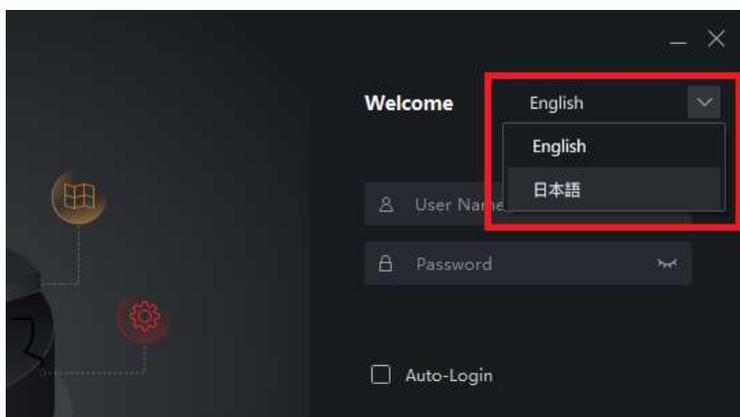
iVMS-4200 MAC (Mac 専用、MacOS 10.12 以上対応)



ソフトウェアの言語を日本語に変更するには、多言語パッケージもダウンロードしてください。
(デフォルトは英語になります)



管理ソフトをインストールしてから、多言語パッケージのファイルを起動してください。
ログイン画面で言語を選択できるようになります。



デバイスを追加

手順

1. [デバイスマネージャー] モジュールをクリックします。



2. [追加] をクリックし、追加方法を選択します。



または、[オンラインデバイス] をクリックし、検索したオンラインデバイスが表示されます。



追加するデバイスを選択し、**[追加]** をクリックします。



注記

非アクティブなデバイスを使用する場合、デバイスの追加にはパスワードの作成が必要になります。この場合は、**[追加]**ではなくて、まず**[アクティブ]**（有効化）をクリックします。

ユーザーデータの取得/エクスポート/インポート手順

「ユーザー」パネルに入ります。



エクスポート手順

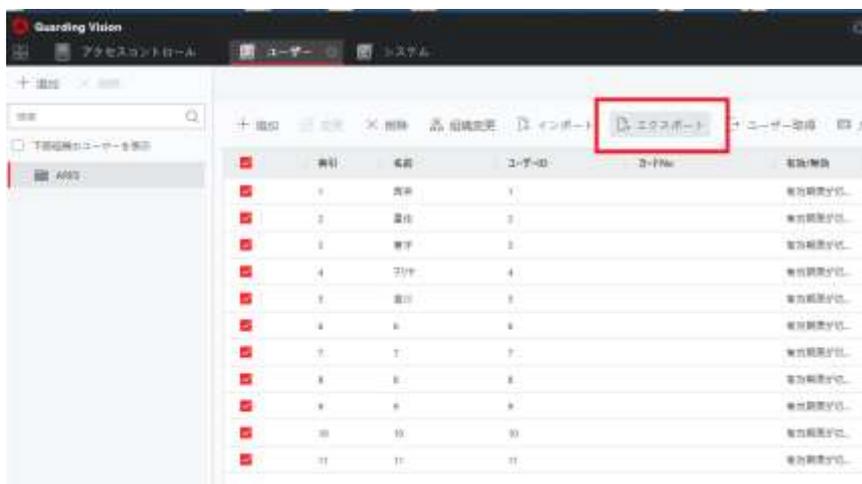
1. まずは、「ユーザー取得」をクリックして、端末からユーザーデータを iVMS-4200 に取得します。



2. 端末を選択して、「インポート」をクリックします。



3. 取得したデータをPCにエクスポートするには、ユーザーを選択して、「エクスポート」をクリックします。



4. ユーザー情報のCSVファイルをエクスポートして、ユーザー顔写真のzipファイルをエクスポートします。



インポート手順

1. ユーザーデータのファイルをPCからiVMS-4200 fにインポートするには、「インポート」をクリックします。



2. まず、**ユーザー情報**のCSVファイルをインポートしなければなりません。ユーザー情報をインポートしてから、**顔**のzipファイルをインポートします。

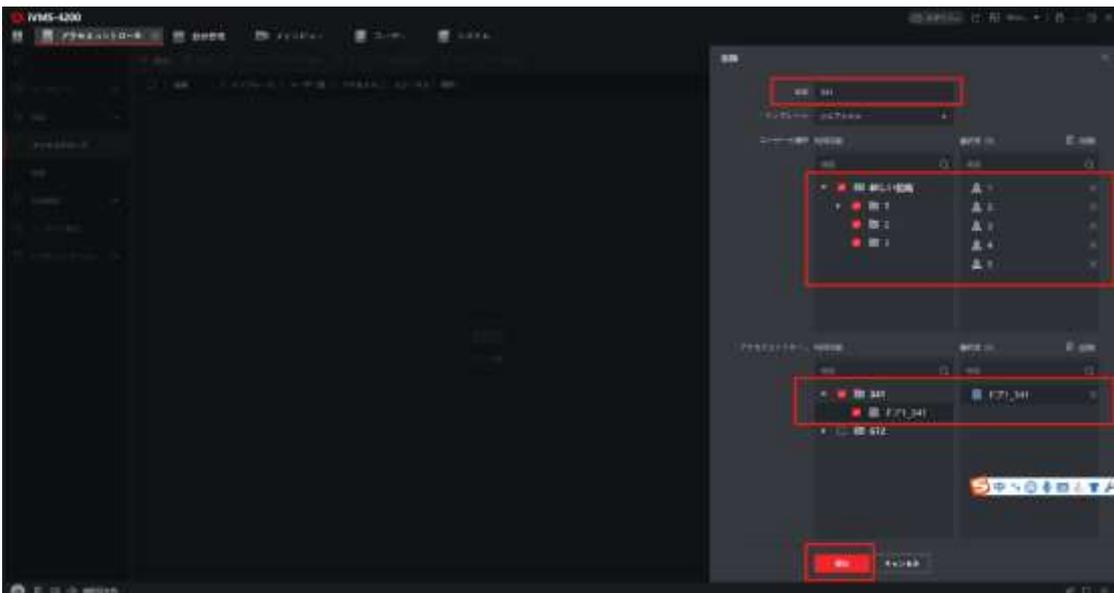


iVMS-4200 経由のデータ移動手順書

1. 端末1からiVMS-4200にインポートされたユーザーデータを端末2に移動するには、「アクセスコントロール」パネルを開いて、「認証」⇒「アクセスグループ」をクリックして、「追加」をクリックします；

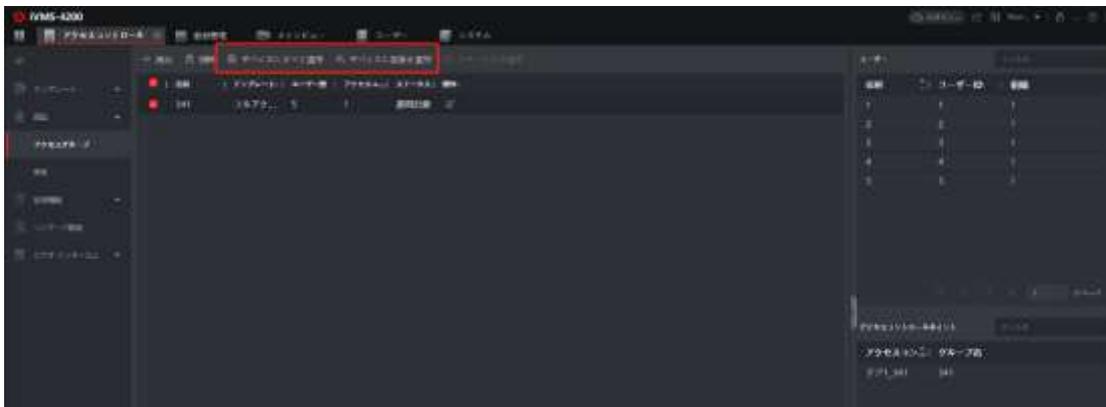


2. 追加ページでアクセスグループの名前を指定して、「ユーザーの選択」でインポートしたいユーザーを選択します。「アクセスコントロールポイントの選択」で追加先のデバイスを選択します。「保存」をクリックします。



3. 「デバイスにすべて適用」または「デバイスに変更を適用」をクリックします（「デバ

「すべて適用」を選択する場合は、既存のデータも上書きされます；「デバイスに変更を適用」を選択する場合は、変更部分だけが適用されます。



4. 「すべて適用されました」というステータスになったら、完了です。



これから、アクセスグループのデータに追加または変更がありましたら、画面の右上に「適用」という黄色のボタンが表示されます。



そのボタンをクリックして、ポップアップウィンドウの「今すぐ適用」をクリックすると、データがデバイスに適用されます。

索引	名前	ユーザーID	カードNo.	有効/無効	権限	カード枚数
1	西井	1		有効期限が切...	0	0
2	塩田	2		有効期限が切...	0	0
3	藤子	3		有効期限が切...	0	0
4	マリヤ			有効期限が切...	0	0

データ同期

データが変更されました。[今すぐ適用]をクリックするとアップデートされたデータがデバイスに適用されます。もしくは、後で[権限]インターフェイスからデバイスに適用することができます。

今すぐ適用 後で適用

イベント設定

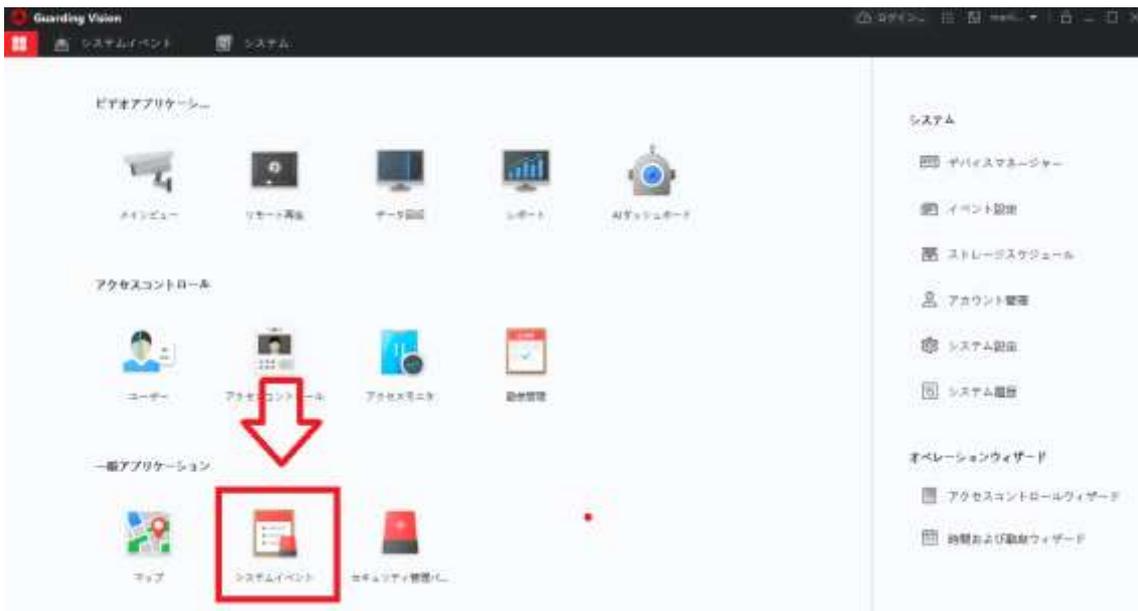
1. 「イベント設定」パネルにはいます。



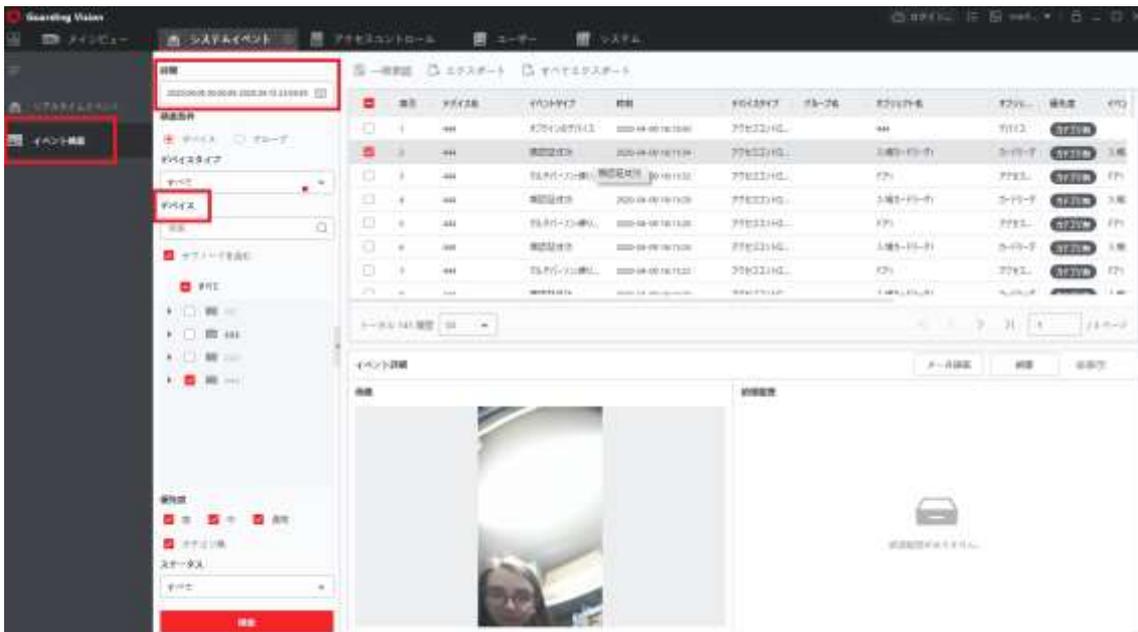
2. 顔認証端末のイベントを設定するには、「アクセスコントロールイベント」(2)をクリックします。デバイス(3)とドア(4)のイベントが異なるので、ご注意ください。



3. イベントを選択すると、イベントの優先度またはリンクを編集することができるように



リアルタイムでイベントを見るか、「イベント検索」で時間とデバイスを選択して、前のイベントを検索することができます。



6. 「エクスポート」をクリックして、イベント履歴と画像をエクスポートすることができます。

マルチ認証設定

1 つの入退室管理ポイント（ドア）に対する複数名の認証を設定できます。

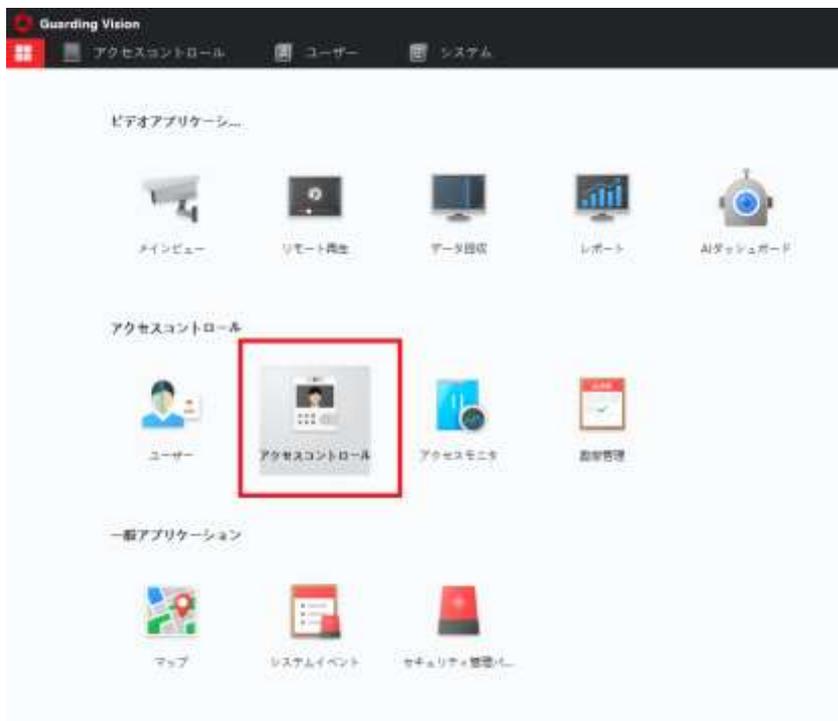
複合顔認証の制限は、最大 8 グループで、各グループに最大 16 人を設定できます。

合計として、128 人を追加することができます。

始める前に:

アクセスグループを設定し、そのアクセスグループを入退室管理デバイスに適用します。

ステップ 1 : 「アクセスコントロール」パネルを開きます。



ステップ 2 : 「拡張機能」をクリックして、「マルチパーソン認証」を選択します。

デバイス（ドアではない）を選択して、「追加」をクリックします。



ステップ3：グループ名を入力して、有効期限を設定して、ユーザーを選択して、「保存」をクリックします。



ステップ4：ドアを選択して、「追加」をクリックします。



ステップ5：登録したグループを選択して、数量を2（二人認証）に設定して、「保存」をクリックします。



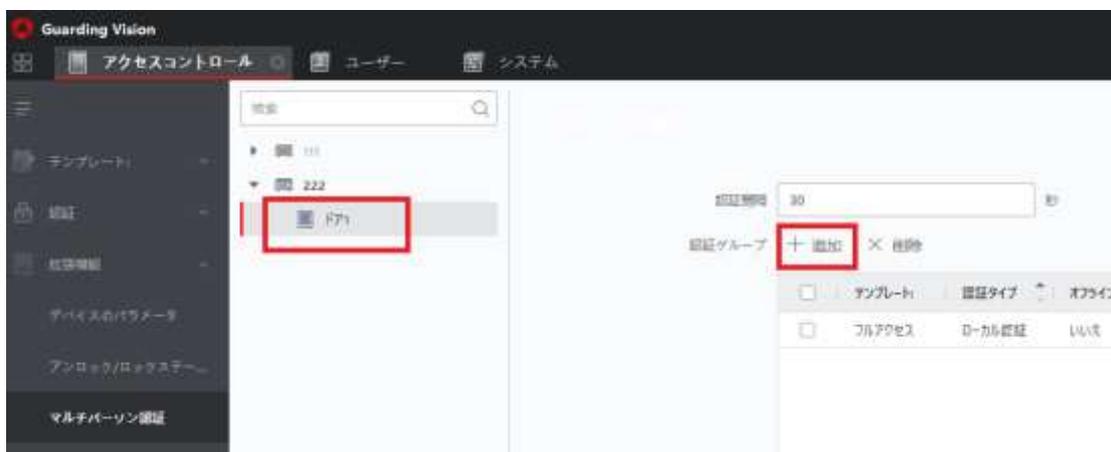
変更を適用して完了です。

登録したユーザーグループを一つずつドアに追加できます。この場合は、認証は1グループ以内になります。

ただし、ドアの認証グループに複数のユーザーグループを追加すると、認証時に、グループの設定順で認証を行う必要があります。

例えば、**グループ1**にAさんBさんCさん、**グループ2**にDさんEさんFさんを追加しました。

ドアを選択して、「追加」をクリックします。



登録した2つのグループを選択し、各グループの認証数量を「2」に設定した場合、端末

側の認証順序は次のように行う必要があります：

グループ1（AさんBさんCさんのうち、順序を問わずに任意の二人が認証すればOKです）

↓

グループ2（DさんEさんFさんのうち、順序を問わずに任意の二人が認証すればOKです）

E-マップ E-MAP（地図管理）

E マップ機能は、設置されたカメラとアラーム入力デバイスの位置と分布の視覚的な概要を提供します。マップ上のカメラのライブビューを取得でき、アラームがトリガーされたときにマップから通知メッセージを取得します。

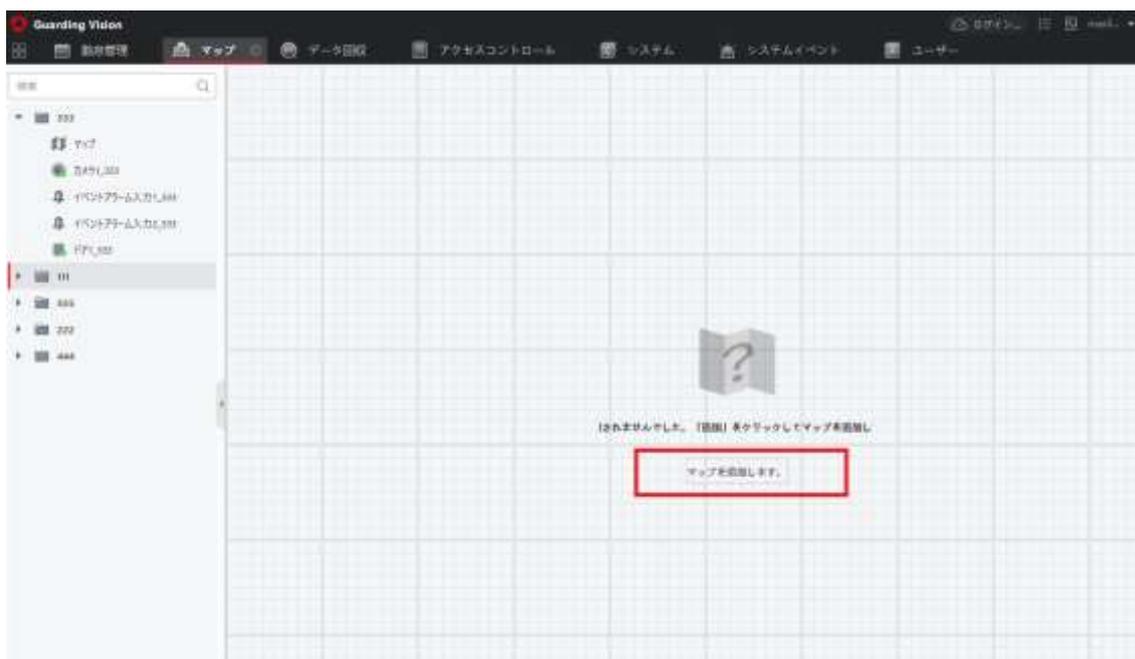
マップ上に配置されたリソース（カメラ、ドア、アラーム入力など）のことを**ホットスポット**といいます。

ADD MAP マップを追加

ホットスポットとホットリージョンの親マップとしてマップを追加する必要があります。

（注）1つのグループに追加できるマップは1つだけです。

1. E-map ページを開きます。
2. マップを追加するグループを選択します。



(注) グループ設定の詳細については、「グループ管理」を参照してください。

3. [マップを追加]をクリックして、マップの名前を入力します。

4. 地図の画像をアップロードして、OK をクリックします。

(注) 地図の画像形式は、PNG、JPEG、または BMP のみです。写真やその他の種類の図面を E マップとして使用することもできます。

カメラ/ドアをホットスポットとして追加する

1. E-map ページに入ります。

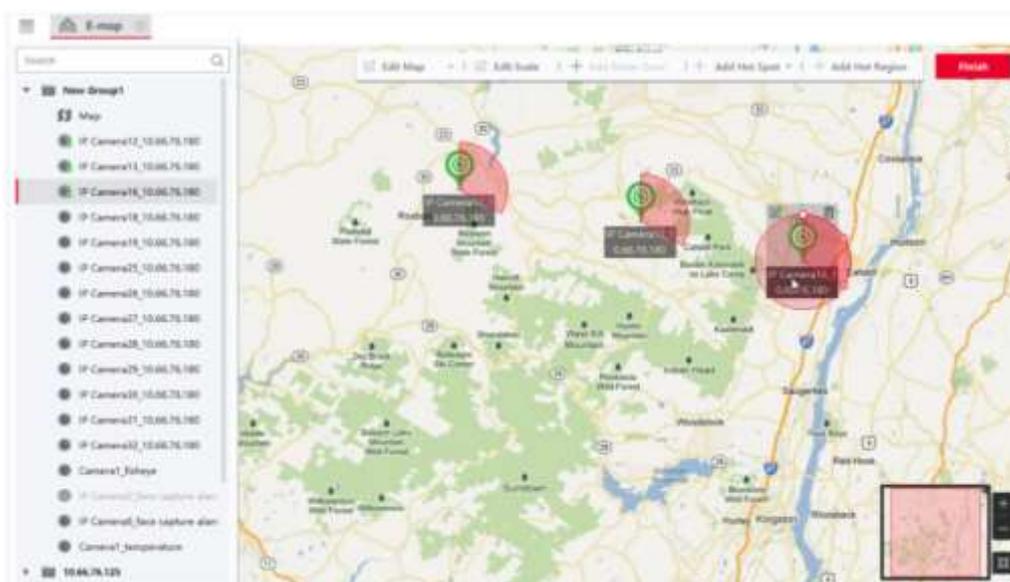
2. 右上隅の Edit [編集] をクリックして、マップ編集モードに入ります。

3. ホットスポットの追加 → カメラホットスポット または アクセスコントロールホットスポット (顔認証端末の場合) をクリックします。



4. マップに追加するカメラ/ドアを選択し、[OK]をクリックします。

オプション: カメラアイコンをグループリストからマップに直接ドラッグして、ホットスポットを追加することもできます。



グループリストからマップに追加されたカメラのアイコンが  から  に変わります。赤いセクターはカメラの視野を示します。

カメラのライブビュー：



をクリックすると、カメラのライブビューウィンドウが開きます

ホットスポットを移動する

ホットスポットをドラッグして、特定の位置に移動します。

視野角を変更する



をドラッグして回転させ、カメラの視野を変更します。

FOV サイズを変更する



をドラッグして FOV サイズを変更します。

ゾーン ホットスポット

マップにゾーンを追加して、アラームがトリガーされたときにゾーンをすばやく見つけることができます。



アラームがトリガーされると、アラームの番号がゾーンのアイコンに表示されます。番号をクリックしてアラームの詳細を表示できます。

(注) 最新のアラームは 10 個までしか表示できません。

[アラームのクリア]をクリックして、現在のマップ上のゾーンのアラームを既読としてマークできます。

ドア

ドアステータスの表示：アイコンをクリックして、ドアのステータスを変更することができます。

Open Door (開扉)

ドアがロックされている場合、このボタンを押すと、ドアが開きます。時間が経過すると、ドアは自動的に閉じられ、再びロックされます。

Close Door（閉扉）

ドアが開いている場合、閉じられます。アクセス許可を持っている人は、ドアにアクセスできます。

Remain Open（連続施錠解除）

ドアのロックが解除されます。すべての人がアクセス権の有無にかかわらず、ドアにアクセスできます。

Remain Close（連続施錠）

ドアがロックされます。スーパーユーザーを除き、誰もドアにアクセスできません。

アラーム情報を表示する

ホットスポットアイコンのアラーム番号をクリックしてアラーム情報ページが開きます。

アラームをクリア

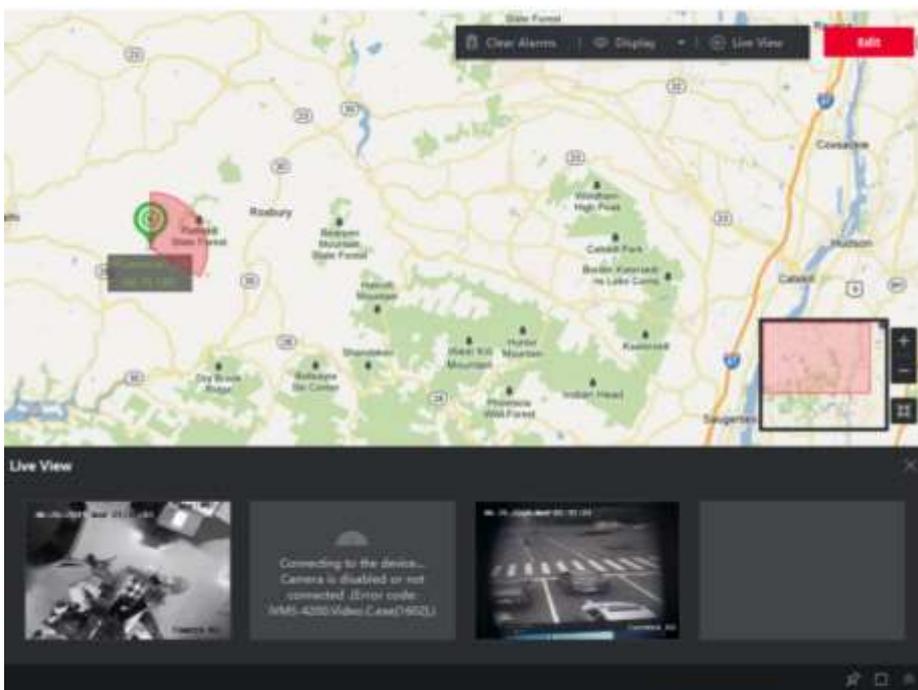
マップの上にある[アラームのクリア]をクリックして、ホットスポットのすべてのアラームを既読になります。

マップ上に複数のカメラのライブビューを表示する

- a. [ライブビュー]をクリックして、下部に4つの小さなウィンドウを表示します。
- b. カメラをデバイスリストからウィンドウにドラッグして、ライブビューを開始します。

注：

最大4台のカメラのライブビューが同時にサポートされます。



ホットエリアの管理

ホットエリア機能は、マップを別のマップと結びます。 マップをホットエリアとして別のマップに追加すると、追加したマップへのリンクのアイコンが親マップに表示されます。追加されたマップは**子マップ**と呼ばれ、ホットリージョンを追加するマップは**親マップ**です。

子マップを親マップにリンクすると、ホットリージョンアイコンが親マップに表示されます。 クリックすると子マップに移動できます。例えば、階の地図に部屋の地図を追加できます。

12.4.1 ホットエリアの追加

手順

注: マップは、一度だけホットエリアとして追加できます。

1. E-map ページに入ります。
2. 右上隅の[編集]をクリックして、マップ編集モードに入ります。



3. 追加したマップを親マップとして選択します。
4. 「ホットエリアの追加」をクリックして、「ホットエリアの追加」ウィンドウが開きます。
5. 子マップを選択します。
6. オプション: ホットエリア名を編集し、ホットリージョンの色とアイコンを選択できます
7. [OK]をクリックします。 子マップのアイコンは、親マップにホットエリアとして追加されます。

入退室管理

一般ルール、残業パラメータ、出勤チェックポイント、休日、休暇タイプなどの出勤パラメータを設定できます。

1. [Time & Attendance (勤怠管理)] モジュールを表示します。
2. [勤怠設定] → [勤怠チェックポイント] の順にクリックし、[Attendance Check Point Settings (出勤チェックポイント設定)] ページを表示します。
3. オプション: [すべてのカードリーダーをチェックポイントとして設定] のスイッチをオフにします。

- リスト内のカードリーダーのみが出勤チェックポイントとして設定されます。
- 4.デバイスリスト内で、目的のカードリーダーを出勤チェックポイントに設定します
 - 5.チェックポイント機能を **[始業/終業]**、**[始業]**、または **[終業]** に設定します。
 - 6.**[チェックポイントとして設定]** をクリックします。
- 右側のリストに、設定した出勤チェックポイントが表示されます。

一般タイムテーブルの追加

タイムテーブルページでは、従業員の一般タイムテーブルを追加できます。これには、固定された始業時刻と終業時刻が必要です。また、有効なチェックイン/チェックアウト時間、遅延および早退の許容タイムテーブルを設定することもできます。

手順

- 1.**[勤怠管理]** → **[タイムテーブル]** の順にクリックし、タイムテーブルの設定ページを表示します。
- 2.**[追加]** をクリックして、タイムテーブルの追加ページを表示します。

The screenshot displays the configuration interface for a general timetable. It includes fields for naming the timetable, selecting its type, and defining check-in/out rules. The attendance time section allows setting work hours and allowable lateness/early departure. A visual timeline shows the resulting work and check-in/out periods. A legend identifies the color-coded bars: yellow for valid check-in/out times, blue for work time, and light blue for late/early leave allowances. A red 'Save' button is located at the bottom of the configuration area.

- 3.タイムテーブルの名前を作成します。
- 4.タイムテーブルのタイプとして「一般」を選択します。

5.計算方法を選択します。

最初の出勤と最終退勤時刻

最初のチェックイン時刻が始業時刻として、最後のチェックアウト時刻が終業時刻として記録されます。

各出勤／退勤

各チェックイン時刻とチェックアウト時刻が有効である場合、隣接するチェックイン時刻とチェックアウト時刻の間の時間の合計が有効な勤務時間として記録されます。

この計算方法では、**[有効な認証間隔]**を設定する必要があります。例えば、同じカードのSwipe間隔が設定値より短い場合、カードのSwipeが無効になります。

7.関連する**勤怠時刻**パラメータと**欠勤関連**パラメータを設定します

9.**[保存]** をクリックし、タイムテーブルを追加します。

オプション：**フレキシブル**のタイムテーブルを追加できます。フレックスタイムテーブルでは、チェックイン／チェックアウト時刻は必要ありませんが、設定した始業時刻以降の従業員の勤務時間が事前定義した勤務時間以上である必要があります。

タイムテーブルを追加するときに、タイムテーブルのタイプを「一般」ではなくて、「フレキシブル」に変更してください。

シフトの追加

シフト期間（日、週、月）や出勤時間の設定など、従業員のシフトを追加できます。要件に応じて、従業員の 1 つのシフトに複数のタイムテーブルを追加できます。この場合、従業員は各タイムテーブルでチェックインおよびチェックアウトする必要があります

始める前に

タイムテーブルを追加します。詳細については、「**一般タイムテーブルの追加**」をご覧ください。

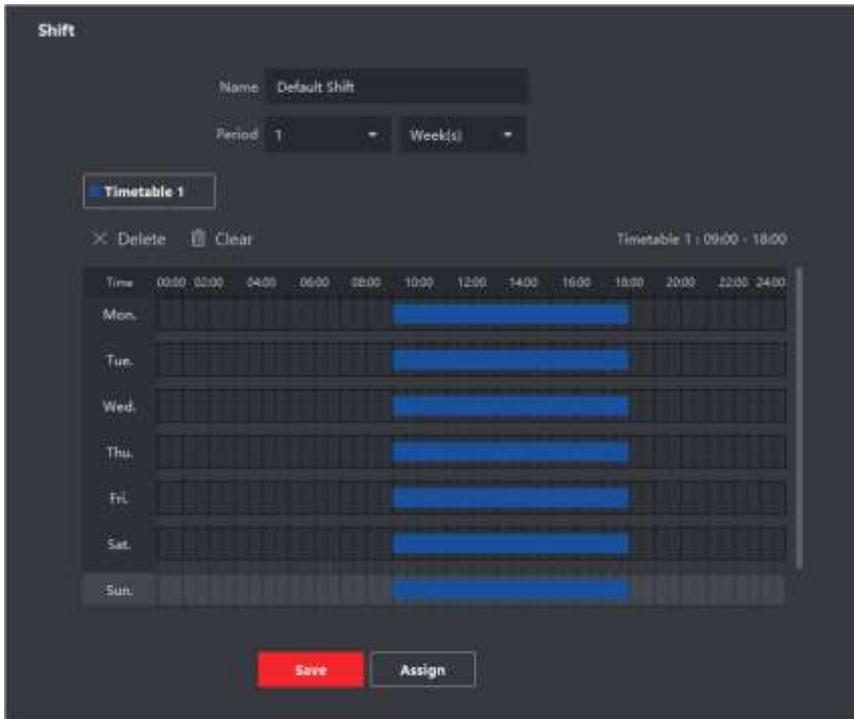
1.**[勤怠管理]** → **[シフト]** の順にクリックし、シフトの設定ページを表示します。

2.**[追加]** をクリックし、**[シフトの追加]** ページを表示します。

3.シフトの名前を入力します。

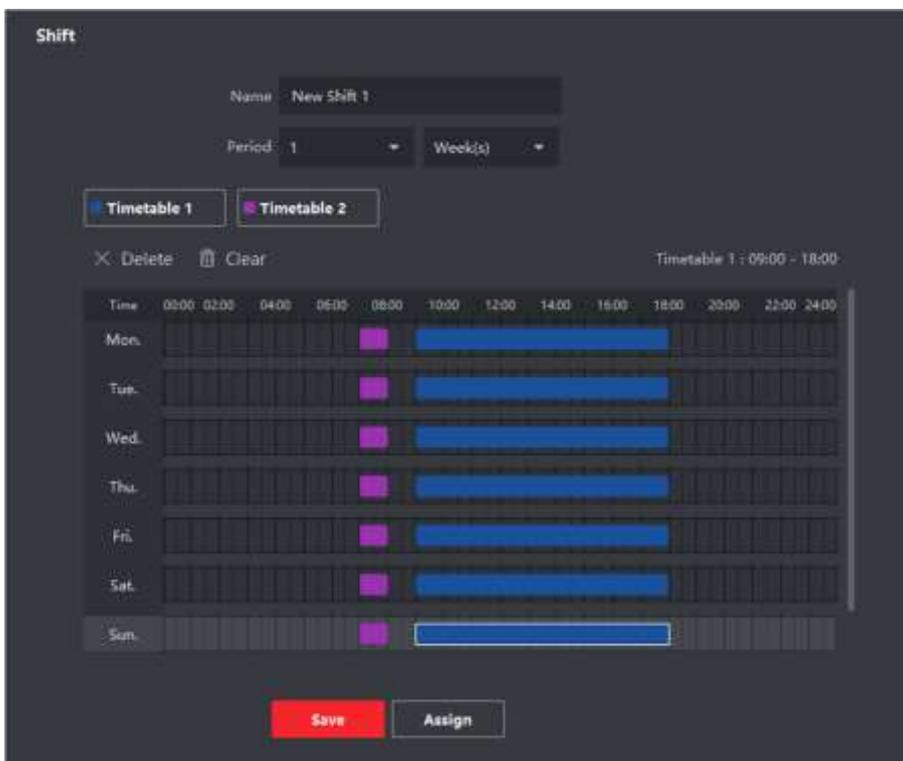
4.ドロップダウンリストからシフト期間を選択します。

5.追加したタイムテーブルを選択し、タイムバーをクリックしてタイムテーブルを適用します。



注記

複数のタイムテーブルを選択できます。それぞれのタイムテーブルの始業および終業時刻と有効なチェックインおよびチェックアウト時刻を重ねることはできません。



6. **[保存]** をクリックします。

追加したシフトがページ左側のパネルに一覧表示されます。最大 64 件のシフトを追加できます。

7. オプション: シフトを組織または人物に割り当てて、クイックシフトスケジュールを作成します。

1) **[割り当て]** をクリックします。

2) **[部署]** または **[ユーザー]** タブを選択し、目的の部署またはユーザーのボックスにチェックを入れます (複数選択可)。

選択した部署またはユーザーがページの右側に表示されます。

3) シフトスケジュールの**有効期限**を設定します。

4) スケジュールのその他のパラメータを設定します。

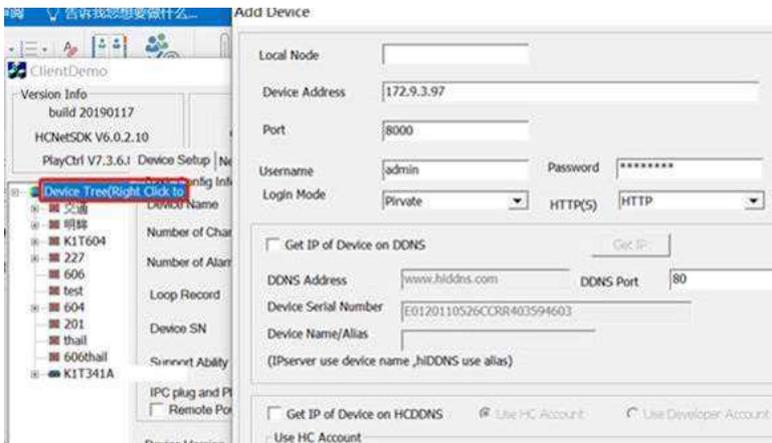
5) **[保存]** をクリックし、クイックシフトスケジュールを保存します

ファームウェアのアップデート手順

「EN-HCNetSDKV6.1.4.6_build20191220_Win64」という圧縮ファイルを展開した後、「lib」フォルダー中の「ClientDemoEn」をクリックして、ソフトを起動します。

使用手順は「add device」>「management」>「upgrade」です。

ステップ 1: **【Device Tree】** のところを右クリックして、デバイスの追加ページに入ります;



ステップ 2: デバイス IP とデバイスパスワードを入力して追加します;

Add Device

Local Node:

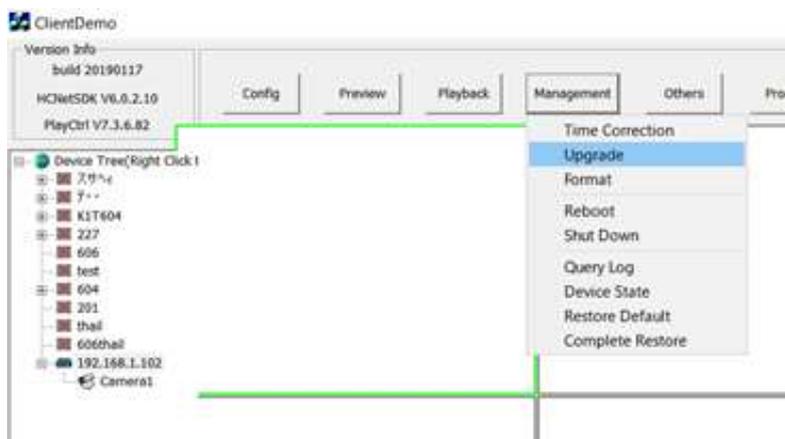
Device Address:

Port:

Username: Password:

Login Mode: HTTP(S):

ステップ 3： 機器を選択した状態で、Upgrade を押します；



ステップ 4： digicap.dav というアップデートファイルを選択して、【アップグレードタイプ】を「ACS」に設定します。そのあと、「Update」を押します。

Remote Update

Network: Setup Network:

Acis No. Aux dev:

Firmware:

FuzzyUpgrade

Unit ID:

100%になったら、デバイスを再起動してください。